

第44回 京都国際観光コンテンツ研究会

「植彌加藤造園 鉢庭づくり @ 金戒光明寺」

- ・ 日 時：平成29年3月22日(水) 13:30～16:00
- ・ 参 加 者：ビューロー賛助会員＋京都市ビズターズホスト 計17名
- ・ 主 催：京都文化交流コンベンションビューロー

【金戒光明寺の案内】

新撰組発祥の地「金戒光明寺」

- ・「くろ谷さん」の名で親しまれる浄土宗大本山 金戒光明寺は、法然上人が初めて草庵を結んだ地で、近年では「新撰組発祥の地」としても有名。広大な境内には、阿弥陀堂・山門・御影堂など見所が多く、非公開の紫雲の庭や清和殿などはユニークベニューとしてMICE利用が可能。
- ・紫雲の庭は、植彌加藤造園が管理されており、作庭説明や鉢庭づくり体験などの体験コンテンツも用意されている。



御影堂にてお寺の由来について説明

【金戒光明寺：参加者の主な感想(アンケートより)】

- ・外国人であれば熟年層、ファミリー層、インセンティブ客に訴求する。(宿泊業)
- ・海外からの教育旅行にもおすすめ。(宿泊業、通訳案内士など)
- ・日本人向けには「禅の心」や「情愛」など「侘び寂」の話をしながら、作庭を語ると良い。(伝統産業事業者)
- ・「庭づくりにも夢と現実がある」ことをテーマに活かせる。(伝統産業事業者)
- ・庭全体で法然の生涯を表現していることや石の置き場にもルールやこだわりがあることなど興味深い話が聞けて良かった。外国人だけでなく日本人にも受ける内容だと感じた。(MICE企画事業者)



石の置き方にも意味がある

【植彌加藤造園 鉢庭づくり体験】

富裕層だけでなく、チームビルディングなどMICE利用も

- ・鉢庭づくりは、
 - ① 職人さんによる石や木などの配置のコツなどの説明
 - ② 鉢庭のコンセプトを決めイメージ図を描画
 - ③ 土・石・樹木・苔を配置し、オリジナルの鉢庭作成という行程から、庭師の心と技に触れ、日本庭園や文化への理解を深めていただくことを目的としたコンテンツ。
- ・お申し込みは2名様から。時間や予算は、希望にあわせてアレンジ可能。



まずは職人さんが作庭の「コツ」を説明

【鉢庭づくり：参加者の主な感想(アンケートより)】

- ・国内外問わず、熟年層、教育旅行、インセンティブ客に訴求する。(MICE事業者など)
- ・大人を童心に帰らせる楽しい体験であった。(通訳案内士)
- ・想像以上に楽しい体験であり、今後のビジネスのヒントを得ることができた。(宿泊業)
- ・体験すると夢中になるので、もともとお庭に興味のある方だけでなく、珍しい体験をしたい方、時間に余裕のある方にぜひお勧めしたい。(宿泊業)
- ・他の人の感性とコラボできて、たいへん楽しい体験。教育旅行やMICEでのチームビルディングにもお勧めしたい体験コンテンツであった。(通訳案内士)



鉢庭づくりの様子